

製品名: リン酸化 IRS1 (Ser639) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00830**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 132 kDa; Observed MW: 150 kDa

抗原情報

遺伝子名	IRS1
別名	IRS1; Insulin receptor substrate 1; IRS-1
遺伝子 ID	3667
SwissProt ID	P35568
免疫原	抗血清は、ヒト IRS-1 の Ser639 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 605-654

背景

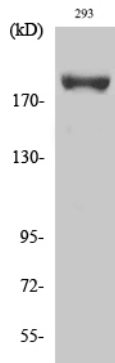
インスリンによる様々な細胞プロセスの制御を媒介する可能性がある。インスリン受容体によってリン酸化されると、ホスファチジ

ルイノシトール 3-キナーゼ p85 サブユニットや GRB2 などの SH2 ドメインを含む様々な細胞タンパク質に特異的に結合し、制御性 p85 サブユニットに結合するとホスファチジルイノシトール 3-キナーゼを活性化する。

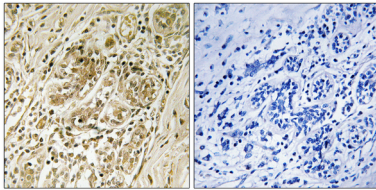
研究分野

タグとセルマーカー

画像データ



リン酸化 IRS1 (Ser639) 抗体を使用した、さまざまな溶解物中のリン酸化 IRS1 (Ser639) のウエスタンブロット分析。



IRS1 (リン酸化 Ser639) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用しました。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプルです。